

移民政策学会 2018年度冬季大会

Japan Association for Migration Policy Studies (JAMPS) 2018 Winter Conference

少子高齢化と人手不足の中、日本では外国人労働者の受け入れが拡大しています。移民政策は、人間の活動領域すべてに関わる広範なものであり、学際的、実証的な研究を必要とします。移民政策学会は、このような問題意識から、研究者、法律家、国際機関、NGO/NPOの活動者、政策担当者などが集う開かれたフォーラムとして2008年に設立されました。入場無料、ご予約不要です。どなたでもお越しください。

2018年

12/15(土) 12:00~18:00

静岡県立大学 草薙キャンパス 国際関係学部棟

静岡市駿河区谷田52-1 (JR東海道線 草薙駅から徒歩15分)

参加費
無料

○プログラム

12:00-13:00 **難民インタレストグループ** 1階3108教室 司会:滝澤三郎(国連UNHCR協会)
留学生としての難民受け入れ

12:30-15:10 **国際セッション** 1階3107教室 司会:津田 ヨランダ(神戸女学院大学)

1. Student-migrants in the UK and Japan: Life course accounts of trajectories through dynamic and divergent pathways in the education-migration nexus Thomas Brotherhood (University of Oxford)
2. Authentic Votes by "Inauthentic" Citizens: Voting Experience of Marriage Migrants in South Korea Ilju Kim (Tohoku University)
3. Emigration from Japan: Environmental Justice of the Fukushima Nuclear Disaster Ryota Wakamatsu (University of Melbourne)
4. Charting Tabunka Kyosei: Municipal Efforts in Integrating Foreign Residents David Green (Meijo University)
5. Economics of Language in the Japanese Context: Empirical Analysis on the Language Ability of Migrant Children in Japan Yasutaka Saeki (Osaka University)

13:10-15:10 **自由報告セッション1** 2階3215教室 司会:ゴロウイナ・クセーニヤ(東京大学)

1. ドイツにおける移民第二世代の出自言語教育の役割と課題—ロシア語授業の事例から 佐々木 優香(筑波大学)
2. 豪比結婚を考える—一日比結婚との比較を含めて 佐竹 眞明(名古屋学院大学)
3. 塩がたつなぐフィリピンと日本の農村—地域経済と結婚移住女性の移民ネットワーク 大野 恵理(フェリス学院大学)
4. 韓国における国際結婚女性の定住後の課題と実践—ソウル市・安山市の就労をめぐる取り組み 川本 綾(大阪市立大学)

13:10-15:10 **自由報告セッション2** 2階3219教室 司会:菅原 真(南山大学)

1. 外国人住民の地方行政参加についての研究—外国人住民会議に関するアンケート調査を通して 吉田 渉(早稲田大学)
2. 欧州のイスラム系移民における政治参加—オランダ労働党の移民政策の影響と政治アクセスの変容 小山 友(千葉大学)
3. 韓国における外国人受け入れ社会の変容促進施策 松岡 洋子(岩手大学)
4. 移民と階層編入—中国朝鮮族のトランスナショナルな生活と階層分化から 金 英花(宇都宮大学)

13:10-15:10 **社会連携セッション** 1階3106教室 司会:吉富 志津代(名古屋外国語大学)

1. 「リトルワールドキャンプ成果報告」 静岡県立大学公認クラブ リトルワールドキャンプ実行委員会 松島 瑞輝 柳橋 市太郎 岩山 達成 山本 奈那
2. 「外国にルーツを持つ身として支援をすることで感じること~COLORSの活動を通じて~」 COLORS (Communicate with Others to Learn Other Roots and Stories) 宮城 ユカリ 玉城 純子 ミウラサユリ
3. 兵庫県立国際高等学校 長野 羽良「外国人労働者の受け入れについて—技能実習における家族滞在に焦点を当てて—」
中沢 薫「日本の国籍制度に関する考察—日本における重国籍保有者に焦点をあてて—」
山本 希穂「難民に関する高校生の意識に関する考察—大学生と高校生の難民に関する意識調査の比較を通して—」

シンポジウム「さかなと外国人—和食を支える日系人・技能実習生・留学生」 15:30-18:00 1階3108教室

1. 企画趣旨 高畑 幸(静岡県立大学・国際関係学部)
2. 漁業における外国人労働力の導入拡大とそのリスク—魚が伝える外国人労働の未来— 佐々木 貴文(鹿児島大学・水産学部)
3. 茨城県大洗町の水産加工業における外国人労働者の受け入れの変遷 金 延景(筑波大学・博士特別研究員)
4. 静岡県焼津市の水産加工業で働くフィリピン日系人 高畑 幸(静岡県立大学・国際関係学部)
5. 静岡県焼津市におけるフィリピン人の生活課題 豊島 エリザ(焼津市在住、人材派遣会社勤務)



主催:移民政策学会 共催:静岡県立大学国際関係学研究所附属グローバル・スタディーズ研究センター
後援(シンポジウムのみ):静岡新聞社・静岡放送

研究助成:①静岡県立大学教員特別研究推進費(平成30年度・代表・湖中真哉)「グローバル化の逆流現象—静岡県内での国際的多文化共生拠点形成を目指して—」
②同(平成30年度・代表・石井由香)「移民政策学会2018年度冬季大会」
③日本学術振興会科学研究費(平成28-30年度・基盤C・代表・高畑幸)「東海地方における外国人労働者の『逆転現象』~ブラジル人からフィリピン人へ」

website in
English and Japanese

